

平成 20 年 3 月 12 日

各 位

上場会社名 株式会社ゼンテック・テクノロジー・ジャパン  
代 表 者 名 代表取締役社長 大 谷 省 三  
(コード 4296、大証ニッポソニューマーケットヘラクレス市場、スタンダード)  
問 合 せ 先 責任者役職名 財務・IR 本部 取締役  
氏 名 吉 村 一 男  
(TEL 03-5298-8100)

### 子会社の異動（取得）に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 1 月 25 日開催の取締役会において、株式会社サクセスの株式を取得し、同社を子会社化することを決議し、これに基づき平成 20 年 3 月 28 日をもって子会社化することになりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 異動する子会社の概要

- |            |  |
|------------|--|
| (1) 商号     | 株式会社サクセス   |
| (2) 代表者の氏名 | 代表取締役社長 吉成 隆杜  |
| (3) 所在地    | 東京都品川区西五反田 7-9-5 成栄ビル 2 階  |
| (4) 設立年月日  | 昭和 53 年 6 月 7 日  |
| (5) 資本金    | 6,530 万円（平成 20 年 2 月末日現在）  |
| (6) 主な事業内容 | 家庭用ゲーム・オンラインゲーム・携帯コンテンツ等の開発および販売<br>WEB コンテンツの開発および販売<br>サーバ構築・運用・保守サービス |
| (7) 決算期    | 5 月  |
| (8) 従業員数   | 148 名  |
| (9) 発行済株式数 | 483,000 株（平成 19 年 5 月末日現在）   |
| (10) 大株主構成 | 吉成隆杜 66.7%<br>吉成暁子 9.9%<br>田中 宝 4.1%                                     |

(11) 最近事業年度における業績の動向

	平成 18 年 5 月期	平成 19 年 5 月期
売上高	2,961 百万円	2,694 百万円
営業利益	107 百万円	△332 百万円
経常利益	44 百万円	△390 百万円
当期利益	22 百万円	33 百万円
総資産	1,498 百万円	1,103 百万円
純資産	183 百万円	216 百万円

2. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

- (1) 異動前の所有株式数 0 株 (所有割合 0%)
- (2) 取得株式数 500,000 株 (所有割合 54.9% ; 取得金額 153.5 百万円)
- (3) 異動後の所有株式数 500,000 株 (所有割合 54.9%)
- (4) 株式取得の方法 株式会社サクセスによる第三者割当増資引受及び既存株主からの譲受
- (5) 異動年月日 平成 20 年 3 月 13 日 株式会社サクセスによる第三者割当増資引受(428,000 株)  
平成 20 年 3 月 28 日 既存株主からの譲受 (72,000 株)

3. 子会社化の目的

当社は中期的な経営方針として、通信と放送の融合（Broadband&Broadcasting,以下B&B™）市場攻略を最重要課題と位置づけ、デジタル水源理論の拡大適用の一環として、A²D戦略（積極的な事業提携や出資による事業拡大と技術力の一層の強化）を推進しております。その中でも「安価で効率性の高いプラットフォーム」、「コンテンツの転送・共有機能」、「カスタマイズ性の高いコミュニケーションツール」、「コンテンツ」の4つの機能をB&B™市場攻略の要と位置づけ、同分野の技術・ノウハウの蓄積に向け戦略的パートナーとの提携を推進しております。

一方、株式会社サクセスは携帯電話・PC・TVの全てのプラットフォーム向けにゲームを中心としたコンテンツの企画開発実績を持つ会社です。

今回の子会社化により株式会社サクセスの強みであるゲームコンテンツの企画・開発ノウハウ及びポータルサイト構築・運営ノウハウと当社グループの強みであるデジタル家電、モバイル、ネットワークの各分野で有する高度な技術開発力と国際的な販売網を融合させることにより、両社における経営資源の最適配分の実現、新規事業開発等を通じ企業価値の増大を図ってまいります。

具体的には、エンターテインメント性・カスタマイズ性の高いコミュニケーションツールやコミュニティサイトを中核とした携帯・PC・TV共通のコンテンツ・ポータルサイトサービスの提供等により B&B™市場攻略を加速化します。

なお、当社が戦略的パートナーであるソーマ社とアジアを中心に共同で推進しております WiMAX 事業におきまして、株式会社サクセスの有するノウハウと提携ネットワークを活用したコンテンツ・ポータル事業の展開を図ってまいります。

4. 子会社の異動が今後の業績に与える影響

当該子会社の異動により、平成 20 年 3 月期の当社の連結・単体の通期業績見通しに与える影響軽微であると考えております。重大な影響を与えることが判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上